

# 厚生文教常任委員会会議録

- 1 日 時 令和6年9月9日(月)  
14時51分開会 15時14分閉会
- 2 会議場所 役場3階 第1委員会室
- 3 出席議員 委員長：川上 均 副委員長：橋本晃明  
委 員：山本奈央、桜井崇裕、佐藤幸一、西山輝和  
議 長：山下清美
- 4 事務局 事務局次長：川口二郎
- 5 議 件  
(1) 道外研修(総務産業と合同)に係る協議  
(2) その他
- 6 会議録 別紙のとおり

【開会 14 : 51】

(1) 道外研修（総務産業と合同）に係る協議

委員長（川上 均）：只今より、厚生文教常任委員会を開催する。議件につきましては道外研修に係る協議事項。宿題になっていたのが、今年度の道外研修に行く、神山町と梶原町2町に行くが、事前に質問の取りまとめをしていくということで、本日までに皆さんの方から持ち寄っていただくということで話をさせていただいた。それぞれの委員の方からはまず、質問事項について出していただきたいと思う。西山委員いかがか。

西山委員：神山町の方であるが、小中学校入学準備補助金、助成金とあるけれども、これはどのようなものか聞いてみたいと思っている。体育文化活動の補助金ということでクラブ活動に要する費用を1人1万円補助するとなっているけれども、それも向こうで説明あると思うけれども、その辺聞いてみたいと思っている。あと高齢者の路線バス定期券の購入助成事業、これも聞きたいと思う。

委員長：神山町について3点ということでよろしいか。梶原町はいかがか。

西山委員：梶原町の方は、小中一貫校の4・3・2制にしているというところ、しっかり説明あると思うので、このところがどうして、そういう計算でやっているのかということを知りたいと思う。あと小学校5年生から制服を着て中学校の校舎へ移動するとなっているので、この辺面白いというか、どういう具合にして制服をしていくのか、その辺を知りたいと思う。

佐藤委員：申し訳ない。参加できないので考えていない。

山本委員：人口ビジョンの将来世代につなぐプロジェクトというところの第1期の、7ページにあるところだけれども、最初に町と地域の人が立ち上げるときに、第1期の意味というところで、40歳代以下の役場職員と地域住民でワーキンググループを構成したというところだけれど、40歳代以下でやろうと思ったときに、その周りの声はどうだったのかそれをどうやって実現したのかということが気になるなと思ったので、お聞きしたいと思った。それと、まるごと高専で、生徒はまだ学校立ち上げて数年だと思うのだけれども、生徒の声が今まで学んできた学校と、どういった点が違ってどう感じて過ごしているのか聞きたいと思った。梶原町についても、ここに取り組みについて色々書いてあるのだが、幼稚園から小学校に移行する関係とか、先程西山委員も言っていたが、4、3、2制というので、子供たちが今までの教育の形態からこの形態に変えて、どのように変化があったのかということをお聞きしたい。

橋本委員：重複するが、梶原町の4・3・2制、色々な小中一貫にも形態がある中で、4・3・2を取り入れた理由というのはどういうことだったのか。それから、様々取り組みはあるけれども、取り組みに関わる人材というか、リーダーとなるような方は、町内で

研修などを経て育てられたのか、移住定住を進めていく中で、そういう人材を求めたりしたこともあるのかという点。これについて伺いたいと思っている。神山町については、非常に具体的な支援策というのがいっぱい出ているけれども、これらによって、どのような効果が得られているのかということについて伺いたい。

委員長：神山町については色々な支援策、これはまるごと高専のことでいいか。それとも神山高校の話になるのか。小中校の支援策で、梶原町については4・3・2制を取り入れた理由とそれに関わる人材育成というのは、具体的には何の人材育成ということで聞いた方がいいのか。小中学校で言えば、梶原町は学校応援団というのがある。そして高校の場合は魅力ある梶原高校を作る会というのが別にある中でやっている。

橋本委員：人口的にはそんなに大きい町ではない。リーダーの方、人材がいなくてこういう活動ができない。

委員長：小中高をとおしての色々なイベントやなにかもやる人材育成ということでいいか、イベントに関わる。

橋本委員：あとは、アーチェリーの活動推進、競技をしぼった活動支援みたいなもの。全部のスポーツを地域でやるといったら大変なことになる。

桜井委員：神山の方は町政戦略、人口ビジョン、それも続いた戦略の中で小中一貫教育を推進されて実現されているということであるし、もう1つの町の方もよく見させていただくと、旭川の東川町と同じような進め方をしていたところであるし、清水町から小中一貫教育をしていく上で、実際には子ども園と小学校が上がる段階での連携だとか、色々なことをやられているわけだが、今後進めていく上で、先進的な地域を見て清水町の今後の一貫した教育と地域の連携も含めて、教育について視察をしていただきたい。それは、僕ら清水町を進める上で、1つの提案というか、そういったことになればよろしい。

委員長：これ難しい、一覧表か何か整理しないとけない。私の方では、例えば神山町がまるごと高専というものと、県立城西高校の神山校と2つがある。中学生は選択しないとならないのだけれども、それぞれまるごと高専はテクノロジーとか起業家を輩出するためのものと、城西高校、神山高校は農業を中心にしたもので住み分けはできていると思うのだけれども、その辺をどう町としてやっているのかということを知りたいのと、まるごと高専は元々企業が作った高専なのだけれども、町としてどう関わっているのかという部分についても聞いてみたいということと、まるごと高専も町に生徒たちが出ていくということでは、どのような町民との交流をされているのかということをお聞きしたい。あと、神山高校の生徒と高専の生徒との交流があるのかとか、そういうのも聞いてみたいという部分と、あと両方ともそうなのだが、神山高校、実際には町の高校ではない。徳島県立高校である。その中の城西高校の分校みたいな形で神山高校というのがあるのだが、そういった中でホームページを見ると、神山町のホームページに高校が出ていて、その中で、神山つなぐ校舎というのが実際にできて、その中で寮とかも関わっているという部分では、県立高校との関わりというのが清水とは全然違うという部分では、その辺どこまでできるのか、可能性としてやればでき

るのかと、やらないだけなのか清水は。その辺について調べてというか、聞いてみたいと思っている。栲原町については、先程も話したけれども、小中学校については栲原町の学校応援団というのがあって、コーディネーターの人がいて、その人を中心に学校支援部会、地域活動部会、放課後子供教室部会とそれぞれあって、年間通してそれぞれの部会が学校の中に実際に入って、様々な活動をしていると。その辺の仕掛け人だとか、どういう町との関わりがあるのかということ、あと予算の関係だとか、そういうのも聞いてみたいということと、小中学校が一緒になって一貫教育の中では9年制を取っている。それで、5年生から中学生の部会に入るような形で制服指定やっているのだろうけれども。そして中学生になったら今度寮がある。栲の木寮というのがあって、その辺7年生、8年生、9年生、いわゆる清水でいえば中学生になったら寮に入るような形になるのだけれども、その対象生徒はどうなっているのかということ、出せば色々ある。その他に高校の部分でいけば、生涯学習交流センターというのがあって、そこで栲寮というのがあって、そこで高校生が、実際に寮に入ってやっていると。この場合は先程言った小中学生の栲原町が後援団とはまた違って、魅力ある栲原高校作る会っていうのが別にあると、その中で高校のカリキュラムの改革だとか、学力の保障だとか、寮の整備だとか、そして地域連携だとかというのを作る会が中心になってやっているとという部分では、どう仕掛けてどうやっているのかというのがわからない、面白いと思うのだけれども、その辺も知りたいと私は思っている。その他にもう1つ、シェアハウスと高山寮という高校の場合は、中高一貫の中、連携の中でそういう寮もあって、そこでも寮生活ができるような形のものを取っているというのでは、その辺町がどのように関わっているかということも知りたいと私は思っている。なかなかホームページとか、インターネットで調べても情報が限られているので、細かいことまでわからない。そういう部分ではこれらを文章にして、1回整理して質問事項として、情報としてすでにあるものは省かせていただいて、整理して出していきたいと思うがそういうことでよろしいか。

桜井委員：両委員会で視察するというので、限られた時間の範囲内で説明を受けて、限られた時間だと思うので、ある程度こちらで今委員長言われたように、質問事項を集約しておいて、それがすべて回答いただけるものでもないだろうし、考え方として委員会としてそういう準備をしておくのは必要だと思う。

委員長：桜井委員からあったように、限られた時間の中で質問していかないとならないので、そういう部分で整理して、また両委員会の中でさらに整理しながら進めていくということよろしいか。

(「はい」との声あり)

委員長：その関係については、事務局と私と副委員長と合わせて整理していきたいと思うのでよろしく願います。

(2) その他

委員長：その他として皆さんの方から何か、議案あるか。

(「なし」との声あり)

委員長：明日一応、両常任委員会合わせて、全員協議会の中で整理するというだけでも、総務産業の方も今勉強会をやっているの、質問事項が出てくるのかどうかということも含めて、相談しながら進めていって、今日皆さんの方から出された質問事項については早急に整理して、また明日、できれば文言として、一覧表として出していきたいと思うので、そういう流れで進めていくということでよろしいか。あと皆さんの方から特になければ、以上で本日の厚生文教常任委員会を終了する。

【閉会 15：14】